

各種商品小売業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	14～ 15	配達中、荷降ろしとトラック荷台の整理を終え荷台から降りようとしてトラックのステップに乗り、その後右足から地面に着地した際、右に捻って着いてしまった為、右足の小指を骨折してしまった。	58	50 ～ 99
1	14～ 15	昼食弁当の回収に訪き、1バットの中に、空のおかず9箱とごはん9箱、そして、その上に汁缶をのせ、長さ4m、幅2m、高さ1.5mのスロープを降りてきて、高さが0.7mぐらいになったので、スロープから飛び降りたところ、着地点にレンガがあり、右足が乗ってしまい捻挫した。	22	1～ 9
3	9～10	清掃済みアパート1階室内より、玄関ではなく窓から外へ出るとき、左足は60cmぐらい下の舗装部分に着地したが、ハードル飛びのような降り方で右足を降りようとしたとき、右足薬指を窓サッシレールにぶつけて打撲した。手に何も持っておらず、窓内からなので真下だった網戸納品のための現場だった。	38	10 ～ 29
3	11～12	2階婦人衣料売り場でバックルームから売り場に出るとき、出口近くに置いてあったプリンターに左足の甲をぶつけた。	54	300 ～ 499
3	20～21	台車でゴミ捨てに行き戻ったところ、立て掛けてあった台車に自身の台車がぶつかり転倒し、自身の押していた台車で左脇腹を打撲した。	67	100 ～ 299
4	2～3	店内の通路で一人でコロ車に載せた荷物を運搬中、インカム反応が必要になってコロ車を急に止めたとき、左足小指をコロ車にぶつけた。	40	100 ～ 299

5	11～12	ダンボール室前の通路を事務所から鮮魚BRに向かって歩行中、ダンボール室の内側から人が出ようとして、扉が通路側に開いていたが、下を向いて前方不注意の状態で歩いていた為に扉に気が付かず、取っ手部分に左脇から胸の辺りを強打した。	55	50 ～ 99
5	9～10	バックルーム通路で、ゴミを捨てようと歩いていた際、ラックが置いてあることに気付かず足をぶつけ転倒し、右第一趾関節を捻挫し、痛みが治まらなくなった。	40	500 ～ 999
5	21～22	荷受場へ急いで商品を取りに行き、1メートルの高さの場所から飛び降りた際、着地時に右足首を捻り、痛みがひどく動けなかった。	22	500 ～ 999
5	16～17	作業が終わって事務所に戻るため通路から横の通路に入った時、通路においてあったダンボール（中身が入っている）に躓き、足を痛めてしまった。	49	100 ～ 299
5	6～7	デリカ作業場の扉前で、入荷商品を6輪台車で運搬中に滑って膝から落ち、左膝を骨折した。	54	100 ～ 299
7	17～18	自店2階婦人衣料の水着売場で、水着バッグの陳列什器のL字型吊り下げフックを固定しているバーの高さがずれていたため、担当マネジャーと高さを調整し手直していたところ、バー受けの金具がはずれて落ちた。それを咄嗟に拾おうと手を伸ばし前方へかがんだ際、フックの先端（直径1.5cm程の円柱状、ステンレス製、高さ85cm程に設置）に左目上まぶたのふちをぶつけ負傷した。	56	300 ～ 499
7	9～10	B2F検品所からB3F事務所へ行く途中の階段で、次に予定が入っている6Fに移動する旨を報告に行く最中に、階段の最下段を滑って踏み外し、不安定な体勢で足首を強くコンクリートに打ち付ける状態で転倒し左足首を骨折してしまった。	44	500 ～ 999
7	9～10	開店後食品レジからバックヤードにチラシを取りに行く際、慌てていて足がもつれてしまい左足首を内側に捻ってしまった。痛みが引かなかった。レントゲンの結果左踵骨骨折、左足関節捻挫と診断される。	55	300 ～ 499
		作業場で振り返り歩き出そうとした際、勢いよく歩き出そうとしたところ、目前に		500

7	8~9	あったカーットの端に右手を打ち付け、人差指・中指を痛めた。	56	~ 999
7	18~ 19	売場で、荷物を持ち走って売場に戻ろうとした際、横から来たお客様とぶつかり、横向きに飛んで床で全身を打ち、打撲した（頭は打っていない）。	63	300 ~ 499
9	15~ 16	売場でお買い上げ商品をスキャンしようとした際、台車の載せてあった炬燵（縦100cm×横100cm×高さ10cm、重さ10kg）がバランスを崩して落ちそうになった為、支えた時に炬燵に左膝をぶつけて皿にひびが入った。	52	300 ~ 499
9	21~ 22	店舗内鮮魚作業場において、氷の入ったパットをカット台にのせて冷蔵庫に入れようとして、冷蔵庫の扉に背を向けて作業していたので、振り返った際に開いていた冷蔵庫の扉に左肩が当たり、頸椎捻挫・左肩甲骨骨折を負った。	47	100 ~ 299
9	16~ 17	バックルームでカット台車に洗剤を積む作業中、台車の車輪部分に左足をぶつけ小指を骨折した。	31	300 ~ 499
9	17~ 18	モールの建物内を通過してバス停に行く際、小走りで向かっていたところ、床に靴がひっかかって自動ドアにぶつかり、左手を打撲、頸椎を捻挫した、その後、左橈骨骨折と診断された。	49	300 ~ 499
10	13~ 14	1階バックルーム食品共通冷蔵庫の中で、コーヒー豆のストックを取りに行った際、冷蔵庫の中に置いてあった明太子を積んだ台車（少し傾いていた）にぶつかり、左足のふくらはぎ辺りを切った。小さな傷で少し血が滲んだ。3~4日後親指位の大きさに腫れ、38.5度熱が2日間あり、その後足がむくみはじめ手の平大に腫れあがり、痛みがひどくなった。	53	300 ~ 499
10	9~ 10	店舗内ガーデンセンターにおいて、開店準備作業を実施。店頭へ移動しようと商品植物鉢（約15鉢）を乗せた三角錐の形状什器（直径83cm、重さ約15kg）を、2名体制で持ち上げた際に後ろ向きで移動した為、先に運んだ什器との間に挟まれ腰をぶつけ負傷した。その後慌てて手を放した時腰に痛みが走った。	58	100 ~ 299
		プラスチック製のカゴ（1m×70cm）を運んでいた為、足元が見えず、台の角に左		100

11	8～9	膝をぶつけた。	69	～ 299
11	23～ 24	パッキン庫（生ごみ庫）でごみを捨てる際、捨てたごみと中のごみが落下したので拾おうとしたところ、ドア内側の脱出用ハンドルに当たって右腕上腕二頭筋を負傷した。	40	30 ～ 49
12	19～20	売場で3段脚立を使用してクリスマスディスプレイを撤去しようとした際、脚立の上でバランスを崩し、床に着地した時に右足の踵を床で強打した（右踵打撲）。	55	300 ～ 499
12	17～18	カートに荷物を載せ売場カウンターの外に出そうとした際、車輪がひっかかり、持ち手が予想外に動いた為、右手人差し指付け根を突き指した。	41	100 ～ 299
12	11～12	売場でダンボール2箱を運ぼうとした際、箱に足が当たってつまずき転倒した。その際に左手で体を支えたところ、左手首を骨折した。	53	300 ～ 499
12	7～8	布巾でレジ後ろのサッカー台の拭き掃除をしている際、勢いよく拭いていてサッカー台側面に右手薬指を強打し、第一・二関節を骨折した。	52	100 ～ 299
12	18～19	当店4階子供服売場で、脚立にのり、柱の上へ商品を並べ、うしろ向きで脚立を下りていた時、最後の1段を踏みはずして左足を強く床へついてしまい、以前より治療中だった左膝に痛みが走り、歩けなくなってしまった。	50	300 ～ 499
12	11～12	青果の女子従業員が、台車に積んであった玉ねぎの箱（10kg）を取ろうとして手が滑り、右腰を横棒にぶつけた。	59	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html